

## SAP Solution Brief SAP ERP Financials



### 財務管理： 決算処理のスピード化を実現

SAP® ERP Financials ソリューションは大多数の企業の最優先事項である決算サイクルを合理化およびスピード化します。このソリューションにより、報告期限の繰り上げのような外部要件や、コスト削減などの内部指令に対応する体制が整います。迅速な決算は報告の正確性を高め、投資家の信用を高めるほか、コストの削減にもつながります。また、速やかに決算を完了できる企業ほど、マネジャーはデータの正確性の確認と不具合の修正に十分な時間を割くことができ、規定要件と財務報告基準を確実に満たすことができるようになります。

多くの企業では現在でも、仕訳の登録、周期的な未払収益/未払費用などの処理、複数のアプリケーションからの財務データの収集、最終レポート用データの整理と検証といった、多くの時間と手作業を要する周期的な決算サイクルに必死に取り組んでいます。大手企業であればあるほど、複数の子会社、部門、時間帯をまたがる多数の従業員の作業を調整する必要があるため、決算サイクルは一層、複雑なものになります。決算においては、やり直しによる遅延を防ぐため、それぞれの関連業務を正しい順序で正確に実行する必要があります。複雑なソフトウェア環境では、標準外の勘定コード表や互換性のないソフトウェアインターフェースが原因で、決算サイクルがさらに引き伸ばされる恐れもあります。

優れた決算処理作業を実現するための1つの鍵は、決算サイクルの標準化です。つまり、ベストプラクティスと厳重に管理されたスケジュールに基づき、一連の繰り返し可能なプロセスとして明確に定義する必要があります。コミュニケーションをはかり、計画を調整することで、定型的な決算タスクに携わる従業員の作業効率が上がり、単純ミスも最小限に抑えられます。その結果、より早く確実に、透明性の高い決算につながります。

## 決算サイクルの自動化

多くの企業では、財務統合ソフトウェアを使用して財務データを編成し、財務レポートを作成しています。決算プロセスを真に最適化するためには、決算サイクルの各段階を組織全体にわたり緊密に結び付けるソリューションが必要です。SAP ERP Financials ソリューションはあらゆる規模の企業に対応したエンドツーエンドの統合ソリューションであり、法規制の遵守や財務報告の信頼性向上を促進し、より迅速かつ正確で、透明性の高い決算処理の実現を支援します。このソリューションは小規模な支社からグループ全体に至るまで、社内のあらゆる決算サイクルをカバーしており、自動化された見越計上、統制勘定照合、連結会計のための機能や、ワークフローの管理、監視、調整に役立つグラフィックツールが含まれています。

## 総勘定元帳による基盤の形成

SAP ERP Financials の総勘定元帳は、企業規模の会計/財務報告の基盤となります。この環境では、ユーザーの作業効率の向上と、見越計上や調整勘定といった数多くの期末決算タスクの大幅な自動化により、決算処理にかかる時間が短縮します。たとえば、単一の多次元データベース機能によって財務会計と管理会計の機能が統合されるため、データの統合に費やしていた時間は最小限に抑えられ、財務報告をより簡単に作成することができます。SAP の管理会計機能では、長期プロジェクトの収益を自動認識したり、収益性分析のために収益とコストを照合したりすることも可能です。

また、SAP の管理会計機能の設定を調整することで、仕掛品や建設仮勘定の価値を自動的に計算したり、適切な勘定転記を登録したりすることもできます。堅固なワークフロー機能では、プロジェクトや受注といったオブジェクトグループに関連する一連の決算タスクをモデル化し、ワークリストを作成してステータスの監視に利用できます。処理中にエラーが発生した場合はアラートによって自動的に通知されるため、問題の迅速な解決が促進されます。

総勘定元帳の堅固なパーティション機能を利用すると、単一のアプリケーションで複数の事業ユニットの異なる会計要件をサポートできます。それぞれ専用の元帳を管理するように設定することで、事業ユニット別に通貨、勘定コード表、国際会計基準 (IAS) などの異なるニーズを同時にサポートできることに加え、現金会計もサポートしています。この機能は、複数の元帳を別々に管理する必要性と、それらの元帳を横断したデータ統制作業に付随する問題を解消します。つまり、総勘定元帳を単一の統制されたデータベースで管理することにより、事業ユニットのデータを1つの企業としての観点から統制する作業が簡素化しています。さらに、企業の財務担当者は、正確性を確保するために期末処理 (データのチェックや分析) まで待つことなく、会計サイクルのすべての局面で、ビジネスのあらゆる側面に関する情報にアクセスすることができます。

## 会社間調整のメリット

会社間取引の調整や相殺は、非常に時間のかかる複雑なプロセスになる場合があります。SAP ERP Financials ソリューションでは、あらゆる種類のソフトウェアのデータをセントラルリポジトリで1つにまとめるため、会社間の調整をより簡単かつ迅速に行うことができます。たとえば、照合、調整、相殺のために社内の財務取引のデータを確認するのは簡単です。また、自動照合アルゴリズムを設定してデータ操作を手作業で行う必要を減らすことができるため、会計担当者は例外処理に集中し、会社間の月末決済をより速やかに実行できます。ビジュアル操作環境には、最先端の伝票バージョン管理も搭載されているため、消し込み処理が終了していない債務および債権明細を日付に基づいて分析するといったことも可能です。以上に加え、これらのタスクを正式な決算サイクルの開始に先立って段階的に実行していくことができるため、決算に伴う作業負担と単純ミスの可能性が低減します。

## 決算プロセスの調整による統制の強化

迅速な決算を達成するためには、プロセスを構成する複数のステップを正確に、正しい時間に、正しい順序で完了しなければなりません。意思疎通のギャップは決算期限に間に合わないほどの遅延につながる危険があります。SAP ERP Financials のグラフィカルな管理ツール(クロージングコックピット)により、決算サイクルの管理が全体的に改善されます。高い透明性を得ることで、より広範囲での協同作業が促進され、問題とボトルネックをすばやく発見し、速やかに解決できます。この統一された直感的なインターフェースには、すべての主要なタスク、依存関係、ワークフロー、タスクの実行責任者、ステータスが表示されます。

以下のことが実行できます。

- 決算プロセスをエンドツーエンドで、多数の部門の枠を越えて包括的に統合する
- 決算スケジュールのベストプラクティスを制度化し、決算サイクル中の進捗を監視する
- 決算プロセス全体の完全な可視性と監視を可能にするユーザーインターフェースを活用することで、より安全で統制された決算を実行する

## プロセススケジューリング機能の使用

帳簿の締め切りに際して企業が直面する課題の1つは、複数の財務ソフトウェアを管理できるスケジューリング機能と監視機能の不在です。複雑なソフトウェア環境では、適切な調整や監視を行わずに決算タスクを実行した場合、問題が悪化する、つまりエラーの発生率とスケジュールの遅延が増大する恐れがあります。プロセススケジューリング機能を使用してクロージングコックピットの機能を拡張すれば、SAP か SAP 以外かを問わず、あらゆるシステムを統合して決算サイクルを管理することができます。たとえば、財務ソフトウェアの種類の違いを超えてプロセスを制御したり、タスクの順序を修正したりすることが可能になります。

## 正確かつタイムリーなグループ連結の実行

すべての支部または部門の財務データが企業全体のデータに連結され、連結決算としての期末財務レポートが生成されて初めて、当期の決算サイクルの完了となります。SAP Business Planning and Consolidation アプリケーションは法規制への準拠を確保しながら、企業の全部門からの結果を結合します。以下の機能が提供されます。

- 財務データを集計、照合、連結した上で、透明性の高い財務レポートと管理レポートを生成する機能
- 異なる財務データや勘定コードを単一の信頼できる財務報告/業績管理報告のためのソースに迅速に変換することで、グループ全体の連結に要する期間を週単位で短縮できる強力なデータ変換機能
- Web 経由で部門や子会社からデータを直接ロードし、本社レベルの報告のための処理と準備を迅速化する自動ルーティン機能
- 自社の法人会計士がグループ連結プロセス全体を集中的に監視/管理できる、直感的なインターフェース
- ユニット間相殺消去、投資連結、通貨換算、組替などのタスクを設定および自動化し、決算サイクルを短縮する機能
- 法的報告、管理報告の要件を満たす堅固な自動レポート生成機能

さらに、事業連結機能を総勘定元帳と統合し、そこから得られるデータを SAP NetWeaver® Business Intelligence コンポーネントで活用すれば、データの整合性を確保しながら、社内全体のインフォメーションワーカーにタイムリーで正確なレポートを配信することも可能です。

## 法規制の確実な遵守

すべての企業において、決算サイクルには監視と文書化による内部統制が不可欠です。SAP GRC Process Control アプリケーションを使用すれば、財務マネジャーは手作業による統制（照合や比較など）と自動統制（ソフトウェア支援による処理環境でのワークフローベースの承認など）の両方を文書化し、証拠として残すことができます。さらに、このアプリケーションを SAP ERP Financials ソリューションと完全に統合すると、包括的な改善処理機能により、例外の発生が継続的に監視されるため、マネジャーは確信を持って財務結果を承認できるようになります。

## さらに詳しい情報は

SAP ERP Financial の詳細や、このソリューションの活用方法については、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.sap.com/japan/solutions/business-suite/erp/>

## Powered by SAP NetWeaver

SAP ERP Financials は、SAP NetWeaver プラットフォームを基盤としています。SAP NetWeaver によって各種の技術コンポーネントを単一プラットフォームに統合することで、IT の複雑さが軽減し、IT 投資の価値を高めることができます。SAP NetWeaver は、対象が SAP または SAP 以外のソフトウェアであるかを問わず、あらゆるシステムを統合する最良の方法を提供します。

SAP NetWeaver を導入すると、IT を自社の業務に適合させる取り組みも促進されます。また、エンタープライズサービスを使用して、ビジネスアプリケーションを迅速に構成し、拡張することも可能になります。SAP NetWeaver プラットフォームは、サービス指向アーキテクチャー (SOA) の基盤でもあります。このブループリントを活用すれば、ポータルやレポート機能を通じてあらゆるソースから柔軟にデータを取得/表示するようなアプリケーションを構築し、データの使い勝手と経営上の洞察力をさらに高めることができます。

SAP の財務管理ソリューションは、これまで 120 カ国を越える国々の 25 以上の業界で、2 万社を越える企業の会計要件 / 報告要件への対応を支援してきました。

49009140J (SE/08/10)

©2008 SAP AG. All rights reserved. SAP, R/3, xApps, xApp, SAP NetWeaver, Duet, PartnerEdge, ByDesign, SAP Business ByDesign および本書で引用されているその他の SAP 製品およびサービス名は、関連するロゴも含めて、ドイツおよびその他の世界各国における SAP AG の商標または登録商標です。本書で言及されているその他のすべての製品およびサービス名は、関連するロゴも含めて、それぞれの会社の商標です。本書に記載された情報は参考として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。また、これらの文書は SAP AG およびその関連会社 (SAP グループ) が情報提供の目的にのみ提供されるもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP グループは文書に関して過失に対する責任を負うものではありません。SAP グループの製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、ここに記載されたものに限られます。本文書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

THE BEST-RUN BUSINESSES RUN SAP™



SAP ジャパン株式会社

本社 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル TEL 03-3273-3333 (代表)  
<http://www.sap.com/japan/>